


# 高萩市(たかはぎし)

	〒 318-8511 〈住所〉 高萩市本町一丁目100番地1 〈TEL〉 0293-23-2111 〈FAX〉 0293-24-0636 〈HP〉 http://www.city.takahagi.ibaraki.jp 〈e-mail〉 soumu@city.takahagi.lg.jp	地域指定 辺地(一部区域) 山振(一部区域) 特定農山村	一部事務組合加入事業 公共下水道 工業用水道 農業共済 滞納処分等 退職手当 消防賞しゅつ 金 交通共済 消防災害補償 非常勤 公務災害 市町村会館管理	公営企業 法適用(上水 工水)
	類型 I-O 地方公共 団体コード 082147 面積 193.65 km <sup>2</sup>			

## <行政組織>

### ①長等(平成24年5月1日現在)

長	くさま よしお 草間 吉夫 (45歳)	任期	平成26年3月1日
		就任回数	2期目
副市長	小島 隆史		

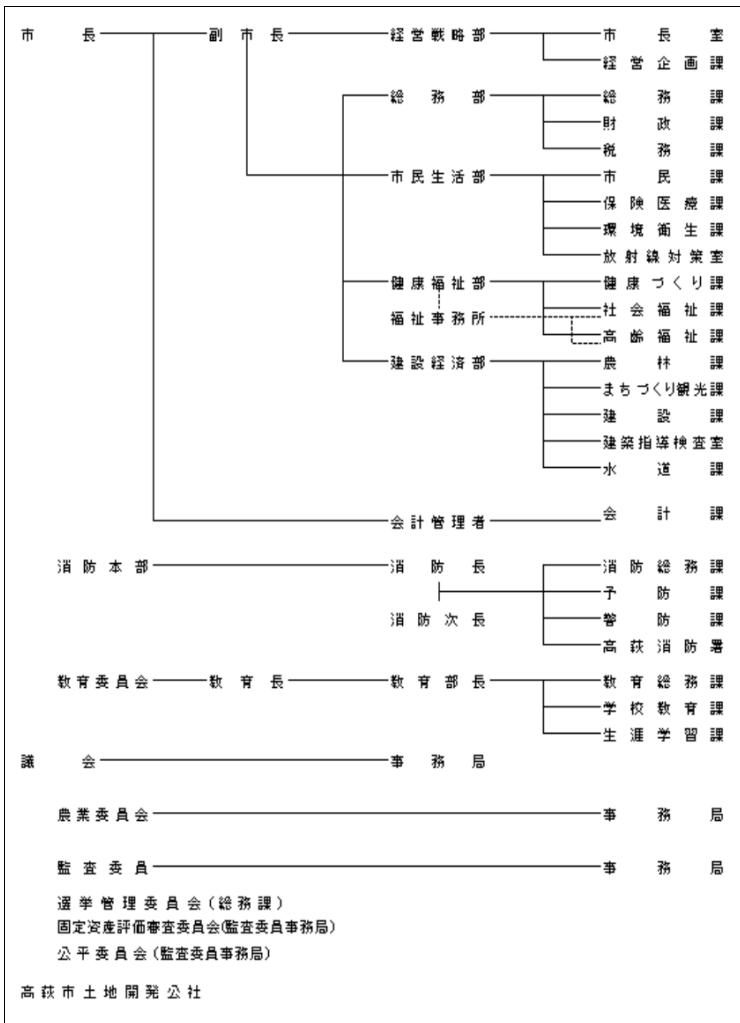
### ②議会(平成24年5月1日現在)

議長	吉川 道隆	副議長	今川 敏宏
任期	平成27年11月22日	条例定数	16人
		現議員数	16人
党派別	公明2人, 民主1人, 共産1人, 無所属12人		

### ③職員数(平成23年4月1日現在)

全職員数	普通会計関係		公営事業 会計関係	
	310	276	うち一般行政関係	168
一般行政職の 平均給料月額	3,199 百円	ラスパイ レス指数	93.1	地域手当 補正後 ラス指数
	93.1			93.1
全職員数の 推移	平成20年4月1日	平成21年4月1日	平成22年4月1日	
	335	321	309	

### ④機構図(平成24年4月1日現在)



## <概要>

### ①沿革

昭和29年11月23日	市制施行	
昭和32年7月1日	境界変更	北茨城市の一部
昭和63年6月1日	境界変更	北茨城市の一部
平成10年10月1日	境界変更	北茨城市の一部

### ②地勢・風土等

茨城県の北東部に位置し、東は太平洋に面し、西は多賀山地が連なり、その間を花貫川と関根川が流れて溪谷をつくっており、これらの海や山の自然景観は県の自然公園に指定されている。

また、北部は福島県東白川群馬町と茨城県北茨城市に接している。東京からは約150kmで、常磐自動車道を利用して約2時間の距離に位置する。

市域の総面積は193.65km<sup>2</sup>。県土の3.2%を占める。市域の約85%が山林原野等で、農耕地面積は1,065ha。

### ③人口・世帯数

区分	国勢調査			常住人口 (平成24年4月1日)	
	平成12年	平成17年	平成22年		
人口	男	17,046	16,113	15,161	14,831
	女	17,556	16,819	15,856	15,516
	合計	34,602	32,932	31,017	30,347
世帯数	11,820	11,721	11,661	11,643	

### ④有権者数(平成24年3月2日現在)

有権者数	男	女	計	高齢人口割合
	12,865	13,382	26,247	

### ⑤高齢人口割合 (H24.3.31住基人口)

## <産業・経済>

### ①生産・所得(平成21年度)

市町村内総生産	1,090 億円	就業者1人当たり	9,657 千円
住民所得	730 億円	人口1人当たり	2,335 千円

### ②産業構造

区分	総生産額(平成21年度)		就業人口(平成22年国調)	
第1次	922	0.8%	583	4.1%
第2次	53,340	48.9%	5,496	38.8%
第3次	55,855	51.3%	7,894	55.8%
総額・総数	108,980	-	14,159	-

### ③農業・工業・商業

業種	農家数	うち専業農家戸数	農業就業人口
	783	142	704
製造業 (平成22年12月31日)	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 (H22.1.1~12.31)
	68	3,483	123,305
卸・小売業 (平成21年7月1日)	事業所数	従業者数	年間販売額 (H18.4.1~19.3.31)
	383	2,561	36,882

### ④特産物

高戸味噌、つるつき高萩いちご、爺杉ボールペン・シャーペン・万年筆、爺杉ストラップ、八千代おこし、高萩せんべい、愛娘みそ、めしじろぼうさん、元禄まんじゅう、宝来納豆ふるさと自慢、はぎまろクッキー、花貫ゆず味噌

<財政状況>

①決算収支

(千円・%)

区分	平成21年度決算	平成22年度決算	増減率
歳入	13,123,217	18,255,215	39.1
歳出	12,563,440	17,626,709	40.3
形式収支	559,777	628,506	-
実質収支	435,662	527,908	-
単年度収支	△ 48,996	92,246	-
実質単年度収支	△ 272,927	132,214	-

②主な歳入・歳出(平成22年度)

(百万円・%)

区分	決算額	構成比	増減額	増減率
<b>歳入</b>	18,255	-	5,132	39.1
地方税	4,262	23.3	△ 190	△ 4.3
地方交付税	2,821	15.5	327	13.1
国庫支出金	1,914	10.5	57	3.1
地方債	6,172	33.8	5,264	580.1
うち臨財債費	698	3.8	-	-
その他	3,086	16.9	-	-
うち繰入金	37	0.2	-	-
<b>歳出</b>	17,627	-	5,063	40.3
義務的経費	6,261	35.5	436	7.5
人件費	2,442	13.9	△ 14	△ 0.6
扶助費	1,998	11.3	344	20.8
公債費	1,821	10.3	106	6.2
投資的経費	2,129	12.1	-	-
普通建設事業費	2,107	12.0	489	30.2
うち補助	1,184	6.7	416	54.1
うち単独	900	5.1	72	8.7
その他の経費	9,237	52.4	-	-
うち繰出金	1,639	9.3	-	-

③主要指標(平成22年度)

・健全化判断基準

実質赤字比率	-	% ( 13.89 )
連結実質赤字比率	-	% ( 18.89 )
実質公債費比率	14.0	% (25.0) [11.1]
将来負担比率	176.4	% (350.0) [73.7]

・普通会計に関する主な指標

財政力指数(平成21年度～平成23年度)	0.598	[0.716]
経常収支比率	94.3	% [87.0]
標準財政規模(平成23年度)	7,386	百万円 [14,967]
地方債現在高(A)	17,859	百万円 [22,297]
債務負担行為支出予定額(B)	1,322	百万円 [2,838]
積立金現在高(C)	1,552	百万円 [5,150]
将来にわたる財政負担(D=A+B-C)	17,629	百万円 [19,985]

※1 ( )は早期健全化基準, [ ]は県平均値

※2 県平均のうち実質公債費率及び将来負担比率は加重平均, それ以外は単純平均

④市町村税の状況(平成22年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率
市町村民税・個人(構成比)	1,403,027 ( 30.1 )	1,264,454 ( 29.7 )	90.1
市町村民税・法人(構成比)	407,939 ( 8.7 )	401,203 ( 9.4 )	98.3
固定資産税(構成比)	2,207,698 ( 47.3 )	1,995,866 ( 46.8 )	90.4
市町村税合計(国除く)	4,665,402	4,262,459	91.4

<公共施設整備状況>(平成22年度) ※のみ平成23年度

小学校 ※	5 校	プール	0 か所
中学校 ※	4 校	児童館	0 か所
幼稚園 ※	5 園	老人福祉施設	11 か所
保育所	5 か所	病院・一般診療所	21 か所
図書館	1 か所	道路改良率	47.4 %
公営住宅	683 戸	道路舗装率	56.8 %
公民館等	2 か所	上水道等普及率	97.1 %
体育館	1 か所	汚水処理普及率	89.3 %

<主要施策等>

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算事業費
防災行政無線(同報系)整備事業	H23～24	海岸地区及び中核的な避難所となる市内小中学校、高等学校に防災行政無線の子局を整備する。	149
地域防災計画策定	H23～24	地域防災計画の全面的な見直しを行う。	15
教育施設耐震化事業	H22～27	老朽化した校舎等を耐震補強し、教育施設の安全性及び教育環境の改善を図る。	1,400
医師確保補助事業	H22～	医師の確保等により医療の充実・強化を図るための支援を行う。	20
新卒者等人材育成事業経費	H23～24	新卒未就職者を対象として新規雇用し、就業に必要な知識と技術を習得させるための研修等を市内事業所に委託する。	21

②今後の主要課題・特色ある行政等

<主要課題>

- ・東日本大震災復旧復興に向けた対応
- ・企業誘致の推進
- ・人口減少と少子・高齢社会への対応
- ・行財政健全化施策の推進
- ・住民との協働による魅力あふれるまちづくりの推進

<特色ある行政>

- ・構造改革特区による私立通信単位制高校に関する法令に基づく高校への支援
- ・21世紀高萩ビジョン「こころの里Cityづくり」構想の推進
  - ①「こころの里Cityづくり」の推進
  - ②高萩ブランドの創出
  - ③次世代「萩っ子」の輩出
  - ④生涯現役社会の創出